

事務事業評価における総括

部 局 名	保健所	記入責任者	中田 和美
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>保健所の業務計画に位置付けた事業では、事業すべてが指標を達成して S 評価とされていることから、順調に進捗しています。</p> <p>事業全体としては、保健企画課の試験検査（一般依頼）事業が指標を達成できず今後の成果を見込めないことから E 評価とし、地域保健課の救急医療機関外国籍市民対策事業については、申請が無く、該当する事案が無かったことから実績なしとしています。また、健康増進課の成人歯科検診事業については成果が今後見込めることから C 評価とされていますが、保健所全体についてはおおむね順調に進捗しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>保健予防課及び衛生課においては、全事業について指標を達成することができたとして S 評価としています。健康増進課の成人歯科健康診査事業については、実績が目標を下回っており、成人歯科健康診査受診券をがん検診受診券と合わせて送付し、歯科検診受診勧奨となっていることから、歯周疾患の早期発見・早期治療のため継続的な実施が必要と考えられます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して進めていきますが、一方で目標値を達成できなかった事業もあるため、政策・施策目標の達成に向けて、事業実施手法の見直しや再度全体の事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>具体的には、試験検査（一般依頼）事業については、令和元年の 9 月末をもって廃止し、事業の効率化や人員の重点化を行います。また、健康増進事業及び食育推進事業については、2 つの委員会を統合し、3 つの計画を 1 冊にまとめるなどを行い、政策・施策目標の達成に向け、事業の効果的、効率的な実施を図ります。</p>			